

報道関係各位

アースラウンジ Vol.3

「Where am I? - 宇宙のなかの私の位置 - 」開催

日本科学未来館

日本科学未来館にっぽんかがくみらいかん（東京都江東区青海 / 館長 毛利 衛）は、「アースラウンジ Vol.3 Where am I? - 宇宙のなかの私の位置 - 」を3月2日（水）から31日（木）まで開催いたします。アースラウンジは、2002年の第1回以来、未来館が毎年開催している「地球環境」をテーマに科学と文化をつなげるオリジナル企画イベントです。第3弾となる今回は、天文学や地球科学の第一線で活躍する科学者と、詩人、写真家、ミュージシャンなどの文化人を招くトークセッションを3回にわたり開催いたします。

未来館のシンボルである球体ディスプレイ「ジオコスモス(Geo-Cosmos)」の下で行われるアースラウンジシリーズは、「地球の下で地球に思いを馳せる」ことをテーマにしたシリーズ企画です。ジオコスモスが映し出す美しい地球の下で、会場におかれた展示やトークセッションを通して、137億光年という広大な宇宙の時空間のなかの地球や自分（人間）の位置について、改めて考える場を提供します。

アースラウンジ Vol.3 「Where am I? - 宇宙のなかの私の位置 - 」概要

会期： 2005年3月2日（水）～ 3月31日（木）

開催場所： 日本科学未来館 1F シンボルゾーン

トークセッションプログラム（事前申込制・入場無料）

1. 「オーロラという境界線」

日時： 2005年3月5日（土） 17:30-19:00

出演者：上出 洋介（名古屋大学 太陽地球環境研究所所長）

内野 志織（オーロラ写真家）

2. 「“POWERS OF TEN” の先へ」

日時： 2005年3月12日（土） 17:30-19:00

出演者：小久保 英一郎（国立天文台 理論研究部上級研究員）

坂本 美雨（ミュージシャン）

3. 「137億光年の孤独」

日時： 2005年3月18日（金） 18:30-20:00

出演者：海部 宣男（国立天文台 台長）

谷川 俊太郎（詩人）

参加申込方法（トークイベントのみ）：日本科学未来館 HP から <http://www.miraikan.jst.go.jp>

<このリリースに関するお問い合わせ先>

日本科学未来館 広報室 佐藤 (press@miraikan.jst.go.jp)

〒135-0064 東京都江東区青海2-41

TEL : 03-3570-9192 / FAX : 03-3570-9160

トークセッション詳細

1. オーロラという境界線

地球の位置を、宇宙全体でとらえたときに宇宙と地球の境界線上に見えるオーロラ。

オーロラの研究を進める名古屋大学・**上出洋介氏**とカナダ・イエローナイフを拠点にオーロラのある風景を追い求めている写真家・**内野志織氏**を迎え、極北の空に舞うその幻想的な姿から何を感じ、受け取ってきたのか、科学的視点とリアルな体験を交えて語り合います。

2. "POWERS OF TEN"の先へ

国立天文台の**小久保英一郎氏**のナビゲートにより「**4次元デジタル宇宙プロジェクト**」の映像とともに“POWERS OF TEN”の先の世界へと誘います。パートナーは、ミュージシャン・**坂本美雨氏**。

宇宙の階層構造を眺めつつ、その過程で聴こえてくる音や見えてくるかたちについて、イメージを膨らませます。

また、いま天文学の分野で最も旬なテーマのひとつの系外惑星（太陽以外の恒星のまわりを回る惑星）研究にも触れ、無数にある天体のなかでの“地球という惑星”の位置について考えます。

“POWERS OF TEN”（1977）： インテリアデザインで有名なチャールズ&レイ・イームズ夫妻が手がけた科学教育的映像作品。
10のべき乗で遠のいていく（あるいは近づいていく）視点をを用い、宇宙と物質世界を約9分の映像で語っている。

3. 137億光年の孤独

詩人・**谷川俊太郎氏**が19歳の時に書いた「**二十億光年の孤独**」。谷川氏が、果てしない時空間のなかにいる自分の存在を表現しようとしたときインスピレーションを得たのが“二十億光年” - すなわち、1950年当時の天文学が伝えていた宇宙の直径でした。最新の天文学によると宇宙の果ては‘137億光年’と考えられています。

海部直男氏は、ハワイの「**すばる望遠鏡**」をはじめ数々の大型望遠鏡プロジェクトに携わってきた天文学者。

第一線の研究現場で宇宙を見つめてきた海部氏ならではの宇宙観と谷川氏のことばを通して宇宙の広がり、人間の心にどんな影響を与えるのかを考えます。

展示

会場内には期間中、地球と自分の位置をさぐるための5つの“道具”が展示されています。

・GLOBAL BEARING

床面に設置されたポールを操作しながら足元の先にあるはずの地球の裏側の様子を映し出す新しいアート作品。
平成16年度文化庁メディア芸術祭優秀賞作品。

・4次元デジタル宇宙プロジェクト

すばる望遠鏡等による観測データやシミュレーションデータを加工した最新の宇宙の可視化プロジェクト。壮大なスケールの宇宙空間を美しくかつ科学的に正しい映像として表現する。今回のアースラウンジではパーソナル版として、最新バージョンを市販のゲーム機のコントローラーを使って体験できます。

- ・上記のほかに3点を展示

各人のプロフィール及び写真・ビジュアルイメージ等は広報室までお問い合わせ下さい

< 一般の方のお問い合わせ先 >

日本科学未来館

展示企画グループ 森田

〒135-0064 東京都江東区青海2-41

TEL: 03-3570-9151 / FAX: 03-3570-9150

URL: <http://www.miraikan.jst.go.jp>